

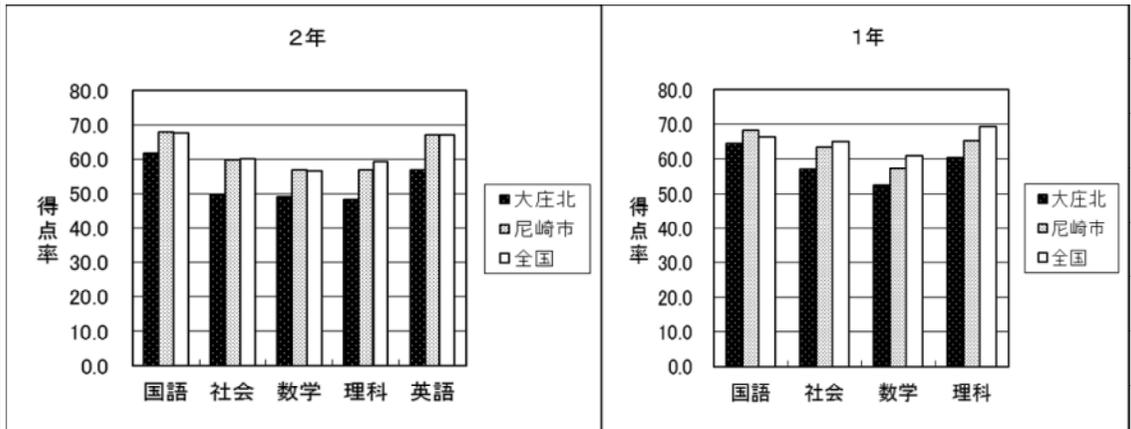
東北中だより

ふるさと北中から
あしたの北中へ
平成24年特別号

尼崎市小中学校 学力・生活実態調査の結果報告です

5月に実施いたしました学力・生活実態調査の結果ができましたのでお知らせいたします。学力調査は下のグラフに、生活実態調査は右頁にそれぞれ載せています。

学力調査の問題範囲は中学校2年生は中学校1年生、中学校1年生は小学校6年生となっています。そこで、1年生は英語がありませんので4教科になっています。グラフの数字は100点換算した数値です。



学力調査

2年生 過去3年間をみると5教科とも上がっています。特に、理科、数学は随分よくなってきました。市内、全国と比べるとまだ差がありますが、これからが勝負です。一時間一時間を大切にしていって欲しいです。しつこいぐらい授業の様子を聞いてあげてください。

1年生 過去3年間あまり変化はありません。理科が下がっているのが心配ですが、今の授業の様子からすると、今後さらに上向いていくものと感じられます。励ましをお願いいたします。

二学年に共通していること 5教科に関して、その教科が「大切だと思いますか」「好きですか」という二つの問いで、社会、理科に対する意識が他の教科に比べて極端に低くなっているところ。「意欲」を持たせなくてはなりません。9教科は体と頭と心に必要なバランスのとれた栄養分です。栄養を考えた食事と同じです。

生活実態調査(7つの項目、35問を載せています)

1年生 「授業中の態度」は市内平均より上で頑張っています。「家庭学習」30番 - 宿題は必ずやるが低いのが気になります。家庭学習の定着に向けてご協力をお願いいたします。

2年生 「家庭学習」29番 - ほとんどしない+30分までが約半数います。一言、声かけをお願いいたします。

13番、17番、25番、26番は学校に関する質問です。学校としてショックです。数字がすべてとは思いたくありませんが、今後の指導に生かすべきところも多々あります。現在、子どもたちは落ち着い

て、学校生活を送っていると思っておりますが、この調査の結果を分析して、子どもたちにとってよりよい北中をめざして、我々も一丸となって教育環境を整えてまいります。より充実した教育内容や指導に努めます。